



日本遠隔医療学会雑誌 第10巻 第2号
平成26年10月

Japanese Journal of Telemedicine and Telecare
Vol.10 (2), 2014

一般社団法人

日本遠隔医療学会

Japanese Telemedicine and Telecare Association

JTTA 2014 NAGASAKI 第18回 日本遠隔医療学会学術大会

・ 大会会場アクセス図	94
・ 大会会場案内図	95
・ 大会スケジュール	96
・ 大会プログラム	98
・ 演題プログラム	99
・ 学会長 挨拶 (原 量宏)	102
・ 大会長 挨拶 (本多 正幸)	103
○ 大会企画Ⅰ・シンポジウム	
・ 遠隔医療を用いた海外在留邦人支援 ～メンタルヘルス、睡眠時無呼吸症候群～	104
○ 大会企画Ⅱ・シンポジウム	
・ 地域医療連携の展開	107
○ 大会企画Ⅲ・パネルディスカッション	
・ 福祉分野への展開と課題	111
○ 分科会企画	
・ 周産期医療分科会 ～日本における周産期遠隔医療・地域医療 ICT の最新状況と国際展開～	115
・ e-health 分科会 厚生労働科学研究費補助金研究「遠隔医療の更なる普及・拡大方策の研究」報告会 およびパネルディスカッション「遠隔医療、施設間で共有すべき臨床情報のあり方」	95
・ JTTA 2014 NAGASAKI 協賛企業一覧	119
・ JTTA 2014 NAGASAKI 実行委員会	120

演題

○ 一般演題 ① 在宅医療支援 (1)	
・ 服薬情報自動取得を備えたタブレット型電話端末による健康管理及び 服薬管理システムの開発 (岡崎 浩幸)	122
・ タブレット型電話端末を用いた健康管理システムの母子健康管理への適用 (岡崎 浩幸)	126
・ 在宅看護におけるケア情報共有システムの開発 (矢里 貴之)	130
・ Web 会議システム使用時の音声応答時間を活用したメンタルヘルス不調者の 精神運動性評価に関する検討 (昇 淳一郎)	134
○ 一般演題 ② 遠隔医療システム評価	
・ インド農村部住民の高血圧患者の割合の2年間の変化 (三瓶 宏一)	137
・ 救急医療 ICT システム付救急車の費用便益分析 (松本 賀久)	141

・ 旭川医科大学が行う眼疾患に対する緊急遠隔医療支援 (花田 一臣)	145
・ 地方病院における眼科遠隔医療システムの有用性 (山口 享)	149
○ 一般演題 ③ 在宅医療支援 (2)	
・ 地域見守り支援システムにおけるフリースポットを用いた地域情報配信 (本多 正幸)	152
・ 遠隔生体情報モニターを用いた睡眠時無呼吸症候群の診断と病態管理の試み (弘岡 泰正)	155
・ 分娩後に高血圧を呈する産褥婦にデータを自動送信する血圧計を用いて 家庭血圧を測定させ電話指導を行う遠隔医療の試験的導入 (杉田 匡聡)	159
在宅医療のための人工呼吸器の遠隔監視の試み (中村 昭則)	163
○ 一般演題 ④ 遠隔診断	
・ 遠隔画像診断と病診連携事例 - 検査数の増加傾向について - (嗣江 建栄)	166
・ 医療過疎地域における循環器領域での遠隔診療支援システムの有用性 (小幡 史明)	169
・ 先天性心疾患の胎児診断における遠隔医療の活用 (川滝 元良)	173
・ 身体傷病合併精神疾患に対するハイビジョンビデオ会議システムを利用した 遠隔診療支援の導入効果 (鎌方 安行)	175
○ 一般演題 ⑤ 地域医療連携・病理画像	
・ 世界標準 XDS/XDS-I を用いた地域医療連携システムの構築 (近藤 博史)	178
・ 地域医療再生基金によるかがわ遠隔医療ネットワーク (K-MIX) の機能強化 - K-MIX から K-MIX+ へ、そしてどこでも MY 病院の実現をめざして - (岡田 宏基)	182
・ 大学病院からの地域医療情報システムへの情報提供と問題点 (花田 英輔)	186
・ 患者参加可能な医用データ共有システムの 6 年間の運用評価 (村永 文学)	190
・ テレパソロジーとデジタルパソロジーの最新動向 (東福寺 幾夫)	194
○ 一般演題 ⑥ 在宅医療支援 (3)	
・ 在宅難病患者と医師との高度テレコミュニケーションシステム (滝沢 正臣)	198
・ TV 電話による通院患者・家族の自己健康管理促進支援の在り方に関する研究 (作宮 洋子)	201
・ 高齢者対象の汎用性の高いシステムを用いた遠隔診療実験 - 効率的運用法に関する考察 - (本間 聡起)	205
・ 高齢糖尿病患者の在宅インスリン療法見守りシステムの開発 (亀田 多江)	209
・ 在宅医療総合支援システムの構築に向けた リアルタイム遠隔生体モニタリング開発の試み (吉川 健太郎)	213
○ 周産期分科会	
・ 日本における周産期遠隔医療・地域医療 ICT の最新状況と国際展開 (原 量宏)	215
・ 岩手県における胎児超音波遠隔診断システム普及の取り組み (小笠原 敏浩)	219
○ 一般演題 ⑦ 遠隔医療技術	
・ 皮下埋め込みを目指した電磁誘導発電コイルの基礎研究 (中島 功)	223
・ ダイクストラ法によるパケットネットワークのトポロジー管理 (北野 利彦)	226

・ 生物学的な特徴を有する自立分散パケット通信 －多数決の原理に基づいた符号復元の効用－ (猪口 貞樹)	229
・ 日本産キジにおける生体データ・角速度の計測 (中田 薫)	232
○ e-health 分科会 (厚生労働科学研究報告会)	
・ 遠隔医療の更なる普及・拡大方策の研究 - 2013 年度厚生労働科学研究成果報告 - (長谷川 高志) ...	234
・ 社団法人遠隔画像診断サービス連合会の活動 (煎本 正博)	238
○ 一般演題 ⑧ システム、技術開発	
・ MFER 出力のホルター心電計の非 MFER 解析ソフトウェアでの解析精度検討 (鎌田 弘之)	240
・ 携帯型 VPN ルーターの開発 (郡 隆之)	242
・ 地域医療機関が実施する m-Health の推進に関する一考察 (稲垣 聡)	246
・ 大分県遠隔画像伝送システムの導入について (下村 剛)	250

JTTA からの報告

一般社団法人日本遠隔医療学会平成 26 年度定時総会のご報告	254
日本遠隔医療学会雑誌投稿規程	270
NOTICE TO CONTRIBUTORS	274
日本遠隔医療学会雑誌に掲載された論文・記事の著作権の扱い	276